イメージはetcherでマイクロSDに書き込んでください。

マイクロSDは32ビットでは8GB、64ビットでは16GBまたはそれより大きいものを用意してください。

マイクロSDはできる限り高速なものを推奨します。

低速なマイクロSDだと動作速度が遅くなります。

Linuxのddコマンドでも書き込めますが出力先を間違えると悲惨なことになるので注意 unzip -p konalinux-pi-2.0_32.img.zip | sudo dd of=[micro sd drive] bs=16k

注意事項

1.ログインIDとパスワード

ログインIDはpi パスワードはkonapiです。

2.MPDの出力

MPDはalsaへ出力します。

それに対し他のプレイヤーはpulseaudioへ出力します。

alsaは出力を共有できないので他のプレイヤーとMPDは同時には出力できません。

パネル上の音量調整はpulseaudio用です。

alsaの音量調整は「alsaミキサー」を使ってください。(F6で出力デバイスを指定する)

ただしpulseaudioの音量を大きくしても音が小さいときはalsaの音量を大きくする必要があります。通常70~90%にしますがこれではalsa出力が大音量過ぎます。

MPDと他のプレイヤーの音量調整はそのつど調整しなければなりません。

[2021/12/20追記]

2.0.1以降はMPDはpulseaudio出力になりこの問題はなくなりました。

3.画面の下部に黒い帯が表示される

ときは、xcompmgrを無効にします。

/etc/xdg/autostart/xcompmgr.desktopをrootで開いて

NotShowIn=LXDE:を付け加えるか

#NotShowIn=LXDE; →NotShowIn=LXDE;に変更します。

この場合plankの透過は効きません。

[2021/12/3追記]

xcompmgrを無効にしない修正方法がわかりました。

上の変更はもとに戻してから/usr/lib/raspi-config/cmstart.shをrootで開き、

xcompmgr -a → xcompmgr へ変更します。

現在公開されているisoでは対応済です。

4.起動しているサービス

ssh, mpd, upmpdcli, mympdは起動時からレディ状態です。

またraspotifyサービスも使用可能です。

spotifyデバイスとしてスマフォやPCから操作できo ます。

4.xrdpの設定

xrdpは停止していますが、sudo systemctl start xrdで起動するか

自動起動にするにはsudo systemctl enable xrdpと入力します。

plankが表示されないときはkillall plank && plank &と入力します(毎回やらなければならない) 英語キーボードになっているときはfcitxの設定で英語キーボードを削除します。

[2021/12/3追記]

2.0.1をリリースします。

xrdpに関して最初から起動状態とし、plankの表示されない問題は解決し、英語キーボードは削除しました。

注意事項3は修正済です。

外観設定ツールに制限がかけてあってテーマなどが変更できなかったのですが設定ファイルを直接変更して対応しました。1.0と同じようなヘッドフォンを背景にしたダークなデスクトップになりました。conkyも復活しています。↓

(これはxrdpの画面)



Kona Linux Pi 2.0 64ビット版のリリース

32ビット版に続いてKona Linux Pi 2.0 64ビット版をリリースします。

64ビット版はLibreofficeのインストールなど本格的なデスクトップとして使用できるようにしました。

3Bでも動作しますがメモリー的にはきついので4Bでの使用をおすすめします。

16GBまたは16GB以上のSSDに書き込んでください。

ユーザー名 : pi パスワード : konapi

・稼働しているサービス

mpd関連はmpd,upmpdcli,mympdが稼働しています。

raspotifyサービスが稼働しています。

spotifyデバイスとしてスマフォなどから操作できます。

その他はssh,xrdpが稼働しています。

•Xrdpの使用上の注意

Xrdpを使うにはオートログインを解除する必要があります。

sshでリモートログインしてコマンドsudo raspi-configを入力します。

System Options -> Boot / Auto Login -> B3 Desktopを選択してリターンキーを推します。 オートログインに戻すときはB4 Desktop Autologinを選択してリターンキーを推します。

または一時的に使用するにはxrdpstartと入力してください。

この場合再起動するたびにxrdpstartを入力する必要があります。

[2022/3/7 追記]

spotifyはalas出力になるのでデフォルトのデバイスは内蔵音源になります。 USB-DACなどの外部オーディオデバイスにするには以下のように /etc/asound.conf ファイルを 作成します。

/etc/asound.confの内容

```
pcm.!default {
  type asym
  playback.pcm {
       type plug
       slave.pcm "output"
  }
  capture.pcm {
       type plug
       slave.pcm "input"
  }
}
pcm.output {
  type hw
  card カード番号
}
ctl.!default {
  type hw
  card カード番号
}
```

カード番号はオーディオデバイスのカード番号で aplay -l でわかります。